

テーマ「しつけ」＜PART1＞ すぐできる子がいい、とは限りません

赤ちゃんの頃は、人を信じることと、自分を信じることの基盤づくりの時期です。

その信じる力のもとになるのは、「自分は守られている」「自分は大切な存在なんだ」という安心感です。これが人間の土台となるものです。

それと共に、もう一つ、この時期に作る大事な基盤というのが、子ども自身、自分で自分の衝動をコントロールするということ。その手助けをするのが「しつけ」です。

「しつけはいつから始めたらいいですか?」「叱らないでしつけるにはどうしたらいいですか?」などと質問されることがあります。

「しつけ」については多くの親が迷いや悩みを感じています。

しつけというのは、親が「ああして欲しい」「これはいけない」と子どもに伝えることです。でも、それ以前に、十分に子どもの望みに応えてあげているかどうか、親は振り返ってみてください。

「〇歳だからこれができるなければならない、できないのはおかしい」という発想は、ちょっと違うのです。



大切なのは気長に待ってあげること。

最初は、手づかみでぐちゃぐちゃにしてごはん食べてもいい。やがて「スプーンを使おうね」

と教えてあげる。スプーンを上手に使えるようになり、本人がお箸に興味を示したら「お箸はこう持とうね」と教えるというように、子どもの成長に寄り添うようにして、ゆっくり順番に教えていけばいいのです。でも、「教えたことはすぐできる子にしよう」という発想はもたないでください。

何でもすぐできる子が「いい子」とは限りません。子どもには発達のプロセスがあり、どんなに必死に覚えさせようとしても、時が来なければ覚えることができないのです。

「かわいがり子育て」 児童精神科医 佐々木正美 参照

今月の絵本

ひまわり

和歌山静子 作／絵 ・ 福音館

はなび ド〜ン

カズコ・G・ストーン 作 ・ 童心社



9月の予定

- ☆ 5日(金) ホール開放
- ☆ 19日(金) 子育て学習会(守山図書館)
「絵本のおはなし・選び方&おはなし会」
- ☆ 26日(金)「布おもちゃづくり」

予約はそれぞれ一ヶ月前から受け付けています。

変更になる場合がありますので、詳細は電話などで確認してください。



今月のわらべうた

うみだよ かわだよ
あおいな みずは
ふねこげば
さかなもおどる



今月のうた

〈とまと〉

とまとって かわいいなまえだね
うえからよんでも とまと
したからよんでも とまと
とまとって なかなかおしゃれだね
ちいさいときには あおいふく
おおきくなったら あかいふく